

第6回苫田ダムモニタリング委員会の総括

第6回苫田ダムモニタリング委員会において、下記の項目について審議を行った。

審議は、1. 管理運用実績、2. 水質、3. 生物 について、調査開始から平成20年度までの評価を行った。

管理運用実績については、治水・利水の補給等について所期の機能を果たしている。

水質については、過去に水質障害は発生していないものの、一時的な藻類の増殖がみられるため、今後も継続して定期水質調査等を実施し、淡水赤潮等の発生状況を監視すること。

生物については、左岸国道において小動物のロードキルが発生していること、下流河川において魚類及び底生動物の一部に変化が認められることから、今後も注意すること。また、ブラックバス対策、湿地環境整備については、今後も対策の検討を継続すること。

今後とも適切なダム管理を図っていくためには、管理に必要な情報の把握と水質、生物に関する調査及びその結果の活用が重要であり、必要な調査を継続して実施すること。